

## 目次

序章	配慮表現とは何か.....	山岡政紀	1
第I部	配慮表現の原理.....	山岡政紀	
第1章	配慮表現研究史.....		19
第2章	配慮表現の定義と特徴.....		35
第3章	配慮表現の分類と語彙.....		51
第II部	日本語配慮表現の諸相		
第4章	配慮表現「ちょっと」の機能と慣習化 —ポライトネス理論からの再検証—.....	牧原 功	69
第5章	配慮表現「よね」に見られる情報共有の諸相.....	金 玉任	85
第6章	とりたて詞「なんか」の 捉え直し用法に見られる配慮表現.....	大和啓子	101
第7章	配慮表現「させていただく」の違和感をめぐって .....	塩田雄大	115
第8章	配慮表現としての「“全然” + 肯定形」.....	斉藤幸一	131
第9章	引用表現における配慮表現.....	小野正樹	147
第10章	モバイル・メディアにおける配慮 —LINEの依頼談話の特徴—.....	三宅和子	163

### 第Ⅲ部 配慮表現と対照研究

第 11 章	代名詞の指示対象から見た対人配慮の日英対照 .... 西田光一	181
第 12 章	慣習的配慮表現の日中対照 .....	李 奇楠 197
第 13 章	配慮表現の日本語・アラビア語対照 —断り表現を中心に— .....	Lina Abdelhameed ALI 213
第 14 章	配慮表現の日本語・ウズベク語対照 —授受補助動詞を中心に— .....	岩崎 透・UMAROVA Munojot 229
あとがき	.....	245
索引	.....	247
編者・著者紹介	.....	252

## 序 章

# 配慮表現とは何か

山岡政紀

### 0.1 「つまらないものですが」

日本人はなぜ贈り物を贈るときに「つまらないものですが」という言葉を添えるのか。表現には必ず目的がある。この場合、贈り物を贈る行為こそが主たるコミュニケーションで、その目的は相手への感謝や親愛の情を示すことにある。そのときに「日頃の感謝を込めまして」とか「ぜひ喜んでいただけたらと思ひまして」などの言葉を添えることもあるが、この場合、贈り物の目的と言葉の目的が一致している。

しかし、贈り物を受け取る側にとって決して嬉しいことばかりではないことも経験的に知っている。借りができたと感じて、そのあとに頼みごとでもされたら断れないんじゃないかと警戒することもあるし、お返しのお返しをしなければならぬという心理的負担感を覚えることもある。これらを仮に贈り物の副作用だと考えれば、「つまらないものですが」という表現は、贈り物の主目的を果たしつつ、副作用を相手に背負わさないという副目的を言語化したものと言える。つまり、贈り手が受け手側の立場や心情に先回りして副作用が起きないように配慮した表現だということである。

「つまらないものですが」の表現のメカニズムについては多くの先行研究がある。川村(1991)では、日本語の文化においては、利益を受けることを精神的負担と受け止める傾向があるため、相手に利益を与えながらも相手の心の負担を軽くしようとする配慮から「つまらないものですが」が用いられるとしている。また、姫野(2002)では、実際に相手に利益を与えるとしても、それをそのまま表現すると相手に心理的負担を負わせてしまうので、言

## 第1章

# 配慮表現研究史

山岡政紀

### 1.1 ポライトネス理論と配慮表現

配慮表現研究史と言っても「配慮表現」という用語の出現は20世紀終盤で、研究史のほとんどは21世紀に入ってからである。

この用語の適用は今のところ日本語に限定されているが、日本語のみに見られる現象なのか、他の言語にも見られる普遍的現象であるのかは研究者によって見解の分かれるところである。本書では普遍的現象との立場を取る。

「配慮表現」が認識されるようになってからは、古典日本語にも配慮表現が多く見出されるようになった。古い時代を対象とした論考としては奈良時代の配慮表現を考察した小柳(2014)をはじめとする野田・高山・小林(編)(2014)の諸論考がある。配慮表現研究史は浅いが、配慮表現史は長大なもの、ということである。

「配慮表現」という用語はポライトネス理論が日本へ紹介される過程で出現した。ポライトネスとは、人と人との会話において言語表現や言語行動に託された対人関係調節機能の全般を指す用語である。わかりやすく言えば、会話においてなるべく相手を心地よくさせたい、あるいはなるべく相手に不快な思いをさせたくないとの意図をもって行う、さまざまな言語表現や言語行動の働きを指す概念である。

ポライトネス理論は主に1970年代から80年代にかけて、アメリカのロビン・レイコフ(Robin Lakoff)、ブラウンとレヴィンソン(P. Brown and S. C. Levinson, 以下、B&L)、イギリスのリーチ(G. N. Leech)ら英語圏の研究者によって確立された。理論的には個別言語を超える普遍理論が志向されて

## 第2章

# 配慮表現の定義と特徴

山岡政紀

### 2.1 各研究者による配慮表現の定義

第1章ではこれまでの配慮表現研究史を振り返り、研究者によってさまざまなタイプの配慮表現が存在することを概観した。研究者それぞれが多様な配慮表現観を持っていることも見てきたが、配慮表現が多様性を有していることが共通認識であることを反映して、どの研究者も限定的でない緩やかな定義を示している。以下に、国語審議会（2000）による敬意表現の定義と、いくつか代表的な「配慮表現」の定義を挙げる。

- (1) 国語審議会（2000）敬意表現の定義：敬意表現とは、コミュニケーションにおいて、相互尊重の精神に基づき、相手や場面に配慮して使い分けている言葉遣いを意味する。それらは話し手が相手の人格や立場を尊重し、敬語や敬語以外の様々な表現から適切なものを自己表現として選択するものである。
- (2) 彭飛（2004：3）配慮表現の定義：相手の心が傷つかないように、また自分が相手に好ましい印象を与えるように配慮する対人関係の表現
- (3) 姫野（2005：7）配慮表現の定義：相手との人間関係を維持・発展させるために用いられる、敬語、および敬語を使わずに配慮を表す表現
- (4) 野田（2014：3）配慮表現の定義：聞き手や読み手に悪い感情を持たれないようにするために使う表現

これらの定義にはいずれもポライトネス機能が含まれている。B&Lの用語に当てはめるとすれば、(1)では「相手の人格や立場を尊重し」が相手の

## 第3章

# 配慮表現の分類と語彙

山岡政紀

### 3.1 各研究者による配慮表現の分類

本章ではポライトネス機能が慣習化したと考えられる配慮表現の分類を示し、該当する語彙・表現を例示することにしたい。それに先立ってまず各研究者による配慮表現の分類について見ておきたい。

- (1) 国語審議会(2000)敬意表現にかかわる配慮の種類：①人間関係に対する配慮、②場面に対する配慮、③伝える内容に関する配慮、④相手の気持ちや状況に対する配慮、⑤自分らしさを表すための配慮
- (2) 彭飛(2004: 3-9) 配慮表現の四領域：①緩和表現、②受益表現、③プラス価値付加表現、④心地よい気分表現
- (3) 牧原(2012: 3-4) 配慮表現のいくつかの型：①前置き表現、②文末表現、③副詞的表現、④利害誇張表現、⑤授受表現、⑥間接的表現、⑦文法カテゴリー
- (4) 野田(2014: 8-12) I形式から見た配慮表現の種類：①敬語、②文末のモダリティ表現、③間接的な表現、④前置き表現、⑤音声、⑥記号・顔文字・絵文字II 機能から見た配慮表現の種類：①上位待遇、②断定緩和、③共感表明、④負担表明、⑤謝罪、⑥理由説明

単に区分の仕方というだけでなく、各研究者がどこまでを配慮表現と考えているのか、それぞれの多様性、守備範囲の広さを知る手がかりともなって興味深い。分類の基準には形式と機能という二つの基準があり、(1)、(2)は機能分類、(3)は形式と機能の混合、(4)は形式分類と機能分類を別立て

## 第4章

# 配慮表現「ちょっと」の機能と慣習化

## —ポライトネス理論からの再検証—

牧原 功

### 4.1 本章の目的

本書は、語用論研究、ポライトネス研究の知見を用いることによって、言語現象の分析を新たな視点から行いうることを示すという構想のもとに編纂されたものである。本章は、上記の観点から、語用論的な視点からの考察が十分に行われたとは言い難い、筆者の「ちょっと」に関する論文をもとに、その後の語用論研究の視座からの分析を加えることで、どのような分析が可能となるかを示すことを主な目的とする。

日本語研究においてB&Lによるポライトネス理論が援用されるようになったのは、比較的近年になってからのことである。筆者は、牧原(2005)において、副詞「ちょっと」が程度副詞としての意味から離れ、主に対人関係に関わる使われ方をしているということを指摘した。実はこの論文は1993年の筑波大学応用言語学研究会、1994年の関東文法談話会で報告した内容をまとめたものであり、その考察に語用論研究の知見はほとんど用いられていない。その目的は、「ちょっと」のポライトネスへの働きかけの在り方を考察するというよりも、程度副詞として本来はプロポジションの中で機能するはずのものが文末のモダリティ形式と呼応するという統語的な問題を論じること、そして、純粋な程度副詞としての「ちょっと」から対人関係に関わる用法に特化した「ちょっと」まで、段階的な変化が見られるという意味論的な観点からの考察を進めることにあった。

その後、語用論の立場から、配慮表現としての「ちょっと」を扱う研究が

## 第5章

# 配慮表現「よね」に見られる情報共有の諸相

金 玉任

### 5.1 はじめに

対話はそれ自体情報の共有を目的とした共同行為ととらえることができる(片桐 1997: 242)。対話で使われる談話機能は、伝達の観点から、情報を相手に与える働きを持つ「情報提供」と、情報を相手から引き出す働きを持つ「情報要求」とに分かれ、「情報要求」の下位分類として「確認要求」がある。「確認要求」とは、「話し手が自分の判断について相手の確認を求める」(国立国語研究所 1960: 305)用法のことで、日本語には、聞き手の認知状態を確認する一連の文末形式がある。「ね」「よね」や、「だろう」「じゃないか」などがその代表的なものである。

なかでも複合終助詞「よね」は、主に「ね」と比較しながら確認要求表現として議論されており、(1)のように、聞き手に直接関わることや、聞き手の方が確かな情報を持っていると見込まれる事柄に対して、確認を求める場合用いられる。

- (1) 「びっくりした。まさか、また家出じゃないわよね」

崇が首をすくめる。

「ちょっとふたりの顔を見たくて寄ったんだ。今日は確かり子さんもお休みだよね」

「るり子、今、コンビニに行ってるの。すぐ帰って来ると言うけど、上がって」  
 (「肩ごしの恋人」)



## 第6章

# とりたて詞「なんか」の捉え直し用法に見られる配慮表現<sup>1</sup>

大和 啓子

### 6.1 はじめに

「なんか」が単一の要素をとりたてるとき、大きく3つの用法があることがこれまでの研究から明らかになっている。(1)は類例暗示によるぼかしの用法、(2)は(低)評価の用法、(3)は事態の甚だしさをあらわす例を示す提題の用法である(下線は原著、または本章の筆者による。以下同じ)。

- (1) このブラウスなんか君に似合うと思うよ。  
(日本語記述文法研究会 2009: 150)
- (2) マンガなんか読むな。  
(日本語記述文法研究会 2009: 120)
- (3) A 「駅前のラーメン屋さん、繁盛しているらしいね。」  
B 「うん、今日なんか店の前に長い行列ができていたよ。」  
(日本語記述文法研究会 2009: 240)

本章では、「なんか」という一つの表現形式がこれら複数の用法をあらわすメカニズムを明らかにし、対人コミュニケーション上でどのように機能しているのかを記述する。そのうえで、「なんか」がどのような文脈において、どのように配慮を示す表現として機能し得るのかということについて Brown

1 本章は大和 (2010) のうち、ナンカに関する論考の部分を再考し、大幅に加筆修正を加えたものである。

## 第7章

# 配慮表現「させていただく」の 違和感をめぐって

塩田 雄大

### 7.1 微妙な表現としての「させていただく」

SMAP が解散する際に、事務所から FAX が流された。その決して長くはない文中に、「させていただく」が4回も使われていたのだ(武田2018)。

- ・「SMAPの今後の活動につきましてメンバーと協議を重ねた結果をご報告させていただきます」
- ・「デビューより25年間アーティストとしてグループ活動をして参りましたSMAPは2016年12月31日を持ちまして解散させていただくことになりました」
- ・「7月の音楽番組を辞退させて頂いた経緯がございました」
- ・「本年を持ちまして、SMAPは解散させていただくこととなりますが」

武田(2018)ではほかにも芸能人の「させていただく」の多用が指摘されており、EXILEのメンバーによる「LIVEをやらさせていただいて」「テキーラを呑まさせていただいて」「自分は今年限りでパフォーマーを一区切り付けさせていただく」などの発言が紹介されている。

この章で取り上げる「させていただく」は配慮表現の一つなのだが、その一方で、この言い方をすることでかえって聞き手に違和感を与えてしまうこともあるという特性も帯びている。配慮表現の中には、このようなおそれ

## 第8章

# 配慮表現としての「“全然”＋肯定形」

斉藤 幸一

### 8.1 はじめに

昭和20年頃から副詞「全然」は、否定表現と共に使用されるという規範意識が生まれ、「全然」＋肯定形は、正しくないと批判されてきた。しかし、梅林(1994)、新野(1997)、小林(2004)、尾谷(2007・2008)などでは、戦前の小説などにも「全然」＋肯定形が頻繁に使用されることに触れ、「全然」＋否定表現の共起への規範意識は迷信であると論じ、さらには現代日本語として新たな用法を確立し、一般化しつつあることを指摘した。また、新野(2011)では、肯定を伴う「全然」は、昭和戦前と現代では〈何から何まで、完全に〉という意味で基本的には変わっていないが、現代では、戦前まで見られなかった「全然平気」「全然大丈夫」や「□□の方が(○○より)全然××」といった比較表現の用例が数多く見られるという用法の違いがあると述べている。そして、「全然平気」「全然大丈夫」などについて、加藤(2014)では「否定の想定を打ち消す配慮」があり、山岡他(2018)では、配慮表現「全然」として解説している。

このような先行研究から、かつて漱石や芥川が用いた戦前の「全然」＋肯定形と、現代日本語における「全然平気」「全然大丈夫」などの「全然」＋肯定形は同じものではないと考えられる。「全然」は、戦前から時代を経て規範意識が形成され「全然」＋否定と収斂していったが、現代において「全然平気」「全然大丈夫」などの対人配慮の機能がある「全然」＋肯定形が新しく生まれ出たといえる。

## 第9章

# 引用表現における配慮表現

小野 正樹

### 9.1 はじめに：語用論としての引用研究

引用研究の流れは、文法論にせよ語用論にせよ、話法とは何かを中心に議論されてきた(松木 2002)。本章で追究したいのは、現実社会で引用表現が用いられる発話の目的である。従来の研究の枠組みでは、現代日本語における引用表現のコミュニケーション上の重要な機能が見落とされているのではないかと考え、引用表現を認知レベルと伝達レベルに分けて考える立場から、伝達レベルをポライトネス理論の観点から述べたい。

### 9.2 引用研究における事態認識

小野(2016)では、引用されるもとになる発話を、話者(=引用者)がどのように認識し、それをどのように言語化するかを、話者中心構造、聴者中心構造、イベント中心構造として整理した。話者中心構造とは、引用されるもとの発話をアウトプットする主体の側から述べるもの、聴者中心構造はもとの発話をインプットする主体の側から述べるもの、イベント中心構造は、アウトプットの主体、インプットの主体のいずれからでもなく、他者の発話を述べる構造である。代表的な表現形式として、話者中心構造は「と言う」述語文、聴者中心構造は「と聞く」述語文、イベント中心構造は、主体が明示されない「そう」「って」述語文が挙げられる。

## 第10章

# モバイル・メディアにおける配慮

## —LINEの依頼談話の特徴—

三宅 和子

### 10.1 はじめに

本章は、モバイル・メディアのSNSの中でも最も利用度が高いLINEをとり上げ、配慮がどのように行われているかを考察する。テーマを「依頼」に絞り、その談話に現れる特徴を分析し、モバイル・メディアのコミュニケーションの一端を明らかにすることで、配慮言語行動研究に寄与したい。

配慮の現れ方をみる視点として本章では、吹き出しの配置、スイッチバック現象、談話構造、ヴィジュアル要素の配置、対人配慮表現を検討した。その結果、LINEでは、やりとりの始まりから依頼を一気に行う傾向が強いこと、タイムラグによるやりとりの不整合を即時に調整すること、談話構造において特有の配慮があること、絵記号やスタンプなどのヴィジュアル要素の配置には一定のパターンがあり、特にスタンプは情緒に強く訴える機能をもつこと、感謝・謝罪・挨拶などの対人配慮表現には多様なヴァリエーションがあることなどが明らかになった。

これらの結果は、「話すように書いている」と思われがちなモバイル・メディアの談話が、実はメディアの特性を反映した「打ちことば」<sup>1</sup>の特徴を多

---

1 モバイル・メディアやパソコンのキーを使って（打って）書かれた語句・語法。その文章。メディア特性を反映した独自の特徴がある（三宅2011）。

## 第 11 章

# 代名詞の指示対象から見た 対人配慮の日英対照

西田 光一

### 11.1 はじめに

本章は、配慮の所在はどこかという観点から日本語と比較しつつ、英語の広告や雑誌のタイトルに見られる先行詞のない 3 人称代名詞を論じる。

(1a)

(1b)

サンプルのため、引用図は削除してあります

*SHAPE*, Singapore, February 2013, p.14

*flavours*, January 2013, p.7

(1a) ではタイトルの What he really wants from you の he には先行詞がない。しかし、明らかに読者が交際中の異性の男性を表すことが察せられる。タイトルの下には、男性 3 名が自分の彼女との休日の過ごし方を答えたインタビューが載っている。(1b) はマレーシアで流通している英語雑誌に載った主婦向けの調理器具の広告で、夫が洋食派で自分が地元のチャーケイ

## 第12章

# 慣習的配慮表現の日中対照

李 奇楠

### 12.1 はじめに

本章で言う「慣習的配慮表現」は、山岡・牧原・小野(2018)の下記の配慮表現の定義づけにおける「一定程度以上に慣習化された言語表現<sup>1)</sup>」と同じ意味である。つまり、ある程度社会的共通認識を持つ配慮の発話である。

〔配慮表現の定義〕

対人的コミュニケーションにおいて、相手との対人関係をなるべく良好に保つことに配慮して用いられることが、一定程度以上に慣習化された言語表現 (山岡・牧原・小野 2018: 159)

ここでの配慮とは、対人関係において、相手のポジティブフェイスとネガティブフェイスに対する配慮であるポライトネスが慣習化した表現である。

本章では、副詞「せっかく」、「わざわざ」や補助動詞「～てくれる」、「ていただく」などのような語や文法的構造の一部分ではなく、わりとまとまった成分すなわち文や従属節のような表現、たとえば、下記の「よく気づいてくださいました」のような表現について、中国語と対照しながら考察する。

- (1) 二宮 「いい話すぎてみんな忘れちゃってるから言ってもいいチョコプらいくない？」  
司会 「二宮さん よく気づいてくださいました 元彌さんと IKKO

1 下線部は本章の筆者による。以下その他の下線部分も同じく本章の筆者による加筆である。

## 第 13 章

# 配慮表現の日本語・アラビア語対照

## —断り表現を中心に—

Lina Abdelhameed ALI

### 13.1 はじめに

どの言語でも相手に不利益をもたらす行為を行わざるを得ないときには、対人関係を良好に保つため、相手に何らかの配慮を示す必要がある (リナ 2015)。特に、断りの言語行動は、Leech (1983) のポライトネス原理における「他者の利益を最大限にせよ」という原則に違反するものであるため、配慮表現の使用が不可欠となる。しかし、アラビア語<sup>1</sup>の配慮表現及び、配慮の原則に関する先行研究が管見の限り非常に少ない。また、日本語とアラビア語の配慮表現及び配慮の原理に関する対照研究は管見の限りない。そこで、本章では、配慮表現の観点から日本語とアラビア語の断り発話に焦点を当て、両言語の類似点及び、相違点を明らかにする。具体的に、両言語の特徴的な表現形式を取り上げ、これらの配慮のメカニズムを解明する。

### 13.2 先行研究

#### 13.2.1 配慮表現について

本章で扱う配慮とは、「対人的コミュニケーションにおいて、相手との対人関係をなるべく良好に保つことに配慮して用いられることが、一定程度以上に慣習化された言語表現」(山岡他 2018: 159) である。

山岡他 (2010) では、配慮表現は日本語の現象に対する説明から始まった

1 本章では扱うアラビア語は口語エジプト方言のアーンミーヤである。アーンミーヤは人々が私的な生活空間で用いる民衆言語である。



## 第14章

# 配慮表現の日本語・ウズベク語対照

## —授受補助動詞を中心に—

岩崎 透・UMAROVA Munojot

### 14.1 はじめに

本研究の発端は、ウズベク語を母語とする日本語学習者の授受表現における誤答が顕著であり、拡大し続けるウズベキスタンの日本語教育の発展のため、ウズベク語と日本語の授受表現の差異を明らかにすることが喫緊の課題であると考えたことにある。

授受を表す表現は各言語に存在しているが、日本語の授受表現は本動詞と授受補助動詞の二つに分けられ、なかでも行為の授受を表す補助動詞テアゲル、テクレル、テモラウは日本語学習者にとって習得しにくい項目の一つとされている。

本章では授受補助動詞テクレルとテモラウに着目し、語用論の観点から、ウズベク語授受補助動詞 *bermoq* と *yubormoq* の差異を明らかにする。分析では二択形式と自由回答を織り交ぜた談話完成テストを用い、両母語話者がどのように授受補助動詞を選択するのか、その傾向を考察することで、両母語話者の対人配慮における授受補助動詞の選択基準の一端を明らかにしていきたい。

### 14.2 先行研究

#### 14.2.1 テクレルの恩恵性に関する先行研究と本章の捉え方

本章の目的は、日本語とウズベク語の授受補助動詞の差異を対人配慮の観点から明らかにすることで、ウズベク語を母語とする日本語学習者の理解に